



学校教育目標【自主】【寛容】【挑戦】
重点目標「目標の実現に向けて、自ら努力する生徒」

原町三中だより

南相馬市立原町第三中学校
学校だより 第16号
令和5年10月26日(木)発行
発行者 校長 和田節子

豊かな文化が息づく三中学区

この一か月、学区内で開かれた様々な文化的な行事に参加してきました。

10/1 大甕地区文化祭

生まれて初めて陣螺術というのを見ました。相馬氏が考案したという、起床一乗馬一並足一突撃等の音色の違いに興味津々。「相馬流れ山」に乗って響く法螺貝は一層味わい深く、この地の歴史に思いを馳せることができました。

また、神楽や太鼓、歌謡など、地域の人達が芸能を楽しむ姿に感慨を覚えた一日でした。



10/21 大甕小学習発表会

「ふるさとクラブ」の子ども達による礼螺で開幕しました。こんなに小さい子どもでも吹けるのかと、ただただ感動。その後も各学年の知恵と努力を結集した発表が続き、来賓の一人からは、「こんなに素晴らしいものをただ

で見ることができて得した気分」というつぶやきが聞こえてきました。全く同感です。



手工芸品の数々に、思わずうっとり。その中に一枚の写真。着物をまとった高齢の女性達。「思い出の一枚の着物」と題された文章には、お嫁に来る時に母が持たせてくれた着物のこと、若くして亡くなった母の形見のこと、東京で働きながらお金を貯めて買ったこと等々、そして結びには「この地で、もう少し頑張っ生きていく」という決意が綴られていて、胸が熱くなりました。



ステージには学校のシンボル「すずかけの木」のビッグアート、フロアではプロの管弦楽団と全校児童46名による

鼓笛のコラボ、そして150年の歴史をたどるスライドショー…。先人達の営みへの敬意と感謝、学校への愛情、そして未来への希望にあふれた素晴らしい式典でした。

10/22 太田地区文化祭

10/21 太田小創立150周年記念式典

今だから、三中だからこそできること

どの地域、どの学校も、「～らしさ、～ならでは」を誇り、それぞれの良さを存分に開花させていることに感動します。太田・大甕地区の文化祭の最後を飾る燦稜祭。一人一人が「自分らしさ、自分達らしさ」を大切にして、「今しかない青春」の力を存分に発揮してほしいと思います。学びと感動のある燦稜祭になることを期待しています。